

“いいまち”つくる#町です!!

岡崎市議会議員

井町よしたかの“いいまち”ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します!

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所（東し労組内）TEL:34-2514



もめることか
国の負担につ
いても検討す
う意見を付し
意見書の提出
賛成した。



厚生労働省によると出産費用が正常分娩の場合、全国平均額は約46万円、室料差額等を含む費用の全国平均は約52万円となっている。現在出産育児一時金は42万円であり、平均的に約10万円の持ち出しが発生している。一方、令和元年の出生数は86万5,234人で前年に比べ5万3,166人減少し過去最少となった。少子化克服に向けきめ細やかな子育て支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられることから、政府に対し現在の負担に見合う形に産育児一時金を引き上げることが強く求める意見書の提出に賛成した。なお、産育児一時金の増額は健康保険組合の負担増につながり、財政圧迫につながる懸念

出産育児一時金の増額を求める意見書

日頃は議員活動に対してご理解を頂いておりますことに感謝申し上げます。岡崎市議会は、令和3年9月定例会を8月31日から9月30日までの31日間開会しましたので以下に決定した主な施策の要旨について報告いたします。

令和3年9月定例会における補正予算の主なもの(コロナ対策)

経費の概要	補正額
市民活動団体への活動再開支援 公益的な活動を行う市民団体の活動再開を応援するため、活動拠点となる施設使用料を全額免除。（地域交流センター、額田センター、図書館交流プラザが対象）	△745万円
障害福祉サービス等事業所への支援 感染者や濃厚接触者が発生した福祉事業所等において、職員の感染等に伴う人員確保サービスの継続に必要な経費を支援。	995万円
民間医療従事者支援 民間の医療従事者に業務上の負担が拡大していることから、慰労及び応援として一人当たり5,000円の金券配布を行う。	6,373万円
PCR検査体制の強化 新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で、PCRなど検査体制の強化が求められている。リアルタイムPCR装置やPCR前処理装置などの機器を購入し体制の強化を図る。	4,113万円
予防接種業務の体制確保 新型コロナウイルス感染症予防接種事業を行うための体制を確保するための増額補正。予防接種補助員の確保、予防接種及び会場設営、受付案内の委託料等。	12億7,162万円
キャッシュレス決済ポイント還元（再） 7月に行われたPayPayポイント20%キャッシュバックキャンペーンの第2弾を行う。	4,312万円
事業資金借入時の信用保証料補助 市内中小事業者の資金需要の増加に対応するため、事業資金借入時の信用保証料を補助する。（補助率：100%、補助上限額：100万円）	2,600万円

